

議 事 概 要

会 議 名	令和 6 年度 第 2 回種子島警察署協議会
会議日時	令和 6 年 11 月 13 日 水曜日 午後 3 時 00 分～午後 4 時 40 分
会議場所	種子島警察署 会議室
出席者	1 警察署協議会 会長以下 6 人 2 警察署 署長以下 7 人
<p>（会議の概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長挨拶 3 協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 業務推進状況の説明 (2) 警察署行政に対する意見要望について (3) 速度取締りの指針の説明 (4) 次回委員会の開催期日について 4 閉会 5 警察活動の視察 <p>【警察署行政に対する意見要望について】</p> <p>委員</p> <p>地域のコミュニティにおいて、これまでにあった住民間の交流、つながりが希薄になり、それゆえに地域社会と子供との関わりも減少し、生活実態が判然としない家庭も見られるようになりました。</p> <p>「世界から高く評価されている日本の治安の良さ。そして、それを支えているのが交番や駐在所のネットワークだ。」と言われていました。</p> <p>制服姿の警察官やパトカーを日常でみることで、最も身近な存在だと感じています。</p> <p>警察署、その管轄の交番・駐在所等を拠点に、地域に密着して住民の治安と安全を確保する警察ですが、近年、急速に伝統的な地域社会が変化しております。</p> <p>警察署、交番又は駐在所のパトロールや巡回連絡等の活動を通じて、地域住民との触れ合いを深め、様々な機会や活動を通して、社会情勢の変化に伴う多様なニーズに応えるため、警察署を主軸に交番・駐在所の機能の充実を図っていただきたいと思います。</p> <p>そして、地域住民にとって、最も身近で、頼れる「お巡りさん」として、安心安全を届けられるように、今後も期待しております。</p>	

署長

今、お話のあった交番や駐在所の制度は日本独特の制度であります。今後もしっかりと、地域に根ざした活動を実施してまいります。

地域社会が変化しているところではございますが、身近で頼れる警察官を目指し、皆様方に安心・安全を届けられるように、引き続き頑張っております。

要望がございましたらお知らせください。

委員

年末・年始のパトカーによる見回り・パトロールを強化してほしいです。

特に、年末に飲食店が多く集まる、西之表市の西町・東町・天神・鴨女地域のパトカーによるパトロールの強化をお願いします。

理由として、「ガールズバーや居酒屋等新規の風俗営業や飲食の店舗ができる。」と聞いています。

馬毛島基地工事着工から約1年半が過ぎ、馬毛島で働く人たち、島の住民のなれ合いが出てきています。年末にかけての見回り、パトロール強化によって様々な防犯効果があるかと思えます。

署長

先ほども説明しましたが、工事関係者の増加に伴い、多くの地域住民の方が島内の治安悪化を心配しているところだと思えます。

県警察では、年末年始は金融機関やコンビニエンスストア等を重点的に警戒活動の強化を図っているところでもあります。

ほかにも、年末年始は交通量が増加することから、交通取締りの強化や警察では赤色灯をつけてレッドラン活動を実施することにより、交通事故や事件の抑止に努めてまいります。

パトロール要望箇所がございましたら、お知らせください。

委員

道路の中央線や一時停止線が消えていて分かりづらくなっているところが多い。

横断歩道の線も消えているところが多い。

熊毛支庁にも聞いたが、「道路のセンターラインの白色は県が担当し、横断歩道や黄色の線は警察が担当している。」と説明を受けた。

例えば中種子町浜津脇集落の国道58号線の黄色のセンターラインが消えて、下の白色の線がむき出しとなり見えている箇所もある。

横断歩道の消えている箇所も、早めに対処してもらいたい。

種子島におけるうそ電話詐欺やSNS型投資詐欺、ロマンス詐欺等の被害状況はどのくらいあるのか。

実際、私の携帯電話にもNTTをかたる電話がかかってきた。

「「+」で始まる電話は詐欺だから、出るな。」というくらいに、警察の方から積極的に広報してほしい。

署長

委員の質問に交通部門と生活安全刑事部門にわけて回答します。

まずは交通部門の交通規制に関する事項について回答します。

横断歩道等の交通安全施設については、県警察において自ら各種点検を確実にやり、適正な維持管理に努め、常に良好な状態が保たれるように配慮しなければならないと認識しています。

横断歩道等の交通安全施設の補修等につきましては、警察本部と警察署において情報共有いたしまして、補修等の措置を講じているところがあります。

補修等の全体の管理は、警察本部で行っているところであり、県下の摩耗が著しい横断歩道等、補修の必要性の高い場所等を優先的に整備しているところがあります。

今後も警察本部と情報共有を図りながら適切に対応してまいります。

どこの補修も大事ではありますが、順次補修はしているものの、間に合っていないのも現実でございます。

センターラインや道路の凹凸等の路面環境の整備につきましては、警察に寄せられた通報等や警察官がパトロール中に自ら発見するものなどがありますが、都度、交通の危険を防止するための応急的な措置を執った上、道路管理者へ情報提供を行うなど、適切な対応を執ることとしております。

今後も警察に寄せられた通報等については、道路管理者に情報提供を行うなど適切に対応してまいります。

なお、国道は国土交通省が管理しており、国道等の道路の穴、落下物等の道路の異状については、

全国共通 道路緊急ダイヤル（＃9910）
で24時間受け付けていますので、御紹介させていただきます。

次に生活安全刑事部門の回答をします。

SNS型ロマンス詐欺に関して回答します。

まずは、被害者が特定されてしまうおそれがあるので、各警察署の具体的な被害件数、被害額は公表していませんので、御了承いただきたいと思っております。

逮捕事案でも説明しましたが、当署においてもロマンス詐欺の被害は発生しており、本年、被疑者を逮捕しています。

鹿児島県全体としては本年9月末現在で

うそ電話詐欺 125件認知 被害額約2億3、300万円

SNS型投資・ロマンス詐欺 135件認知 被害額約11億8、300万円

となっております。

次に、「総務省」を名乗る電話が増えている件について回答します。

被疑者が「総務省」を名乗るうそ電話詐欺があることは把握しており、当署においても、「総務省と名乗る電話がかかってきた。」旨の相談が複数件なされております。

「総務省」を名乗るという特定のうそ電話詐欺については、名乗り先

の名称ごとの統計を取っていないので、具体的な相談件数は把握していませんが、当署において、うそ電話詐欺に関する全体的な相談件数は、本年10月末現在で、令和5年中の相談件数を超えています。

そのため、当署管内において、うそ電話詐欺の電話は増加している傾向にあると判断しているところであります。

「総務省」を名乗るうそ電話詐欺のほか、「NTT関連会社」、「実在する住宅メーカー」等を名乗るうそ電話詐欺もありますので、注意していただきたいと思えます。

広報につきましても、触れ合い活動を通じて講話等をする機会もごございます。「+」で始まる電話には注意をするように。」といった島内で発生している具体的なものを話していきたいと思っています。

自治体の広報もごございますので、被害防止の広報について自治体との連携も強化してまいります。

委員

西之表市から配布される回覧文書の中に「よいらーいき」と「種子島ポリス」という広報紙が入っています。

発行元をみると「種子島ポリス」が種子島警察署、「よいらーいき」が種子島地区防犯協会となっています。

予算の都合もあると思うが、紙面をカラー化にして読み手にインパクトを与えるようにしてみてもどうか。

署長

当署の輪転機が白黒の印刷用のものをございます。現時点カラーの印刷機の配分に至らないところをございます。

「よいらーいき」は種子島地区防犯協会の方で作成しており、地元の犯罪被害防止の内容となっております。

「種子島ポリス」は交番等が作成しており、内容は県警察が住民の方にお知らせしたい重点広報の内容となっております。

ですので、種子島警察署管内というわけではなく、県全体に向けた内容となっているため、若干ここの地域との広報紙のずれがあるかもしれません。

備 考	
-----	--